

Broaden your horizons³⁵ ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。先日、国連での会議に参加するため、NYに行ったのですが、NY州にはナイアガラの滝があります。折角なので……世界一マイナスイオンを発生している場所にGo! 飛行機で1時間。カナダのオンタリオ州とアメリカのNY

州の国境にナイアガラの滝があります。

アメリカ側から滝を見ると側面なので、正面から滝を見るため、国境橋でカナダに渡りました。ナイアガラの滝は壮大でした。吸い込まれそうです。ナイアガラの滝に飛び込んで無事生き残れたら、「ナイアガラに飛び込んだ人」ということで、一生講演で食べていけるそうです。いっときましょうか?……無理! 失敗したら3年は浮かんでこないそうです。

さて、せっかくカナダに入国したので、薬局を探せ! とナイアガラフォールズ市を散策しました。この街には2軒の薬局がありました。アメリカ同様、スーパーと同居していました。「Prescriptions=処方せん」と書かれた看板が奥にあり、調剤室がありました。

カウンターは意外に小さく、観光地なので、日曜日でも薬剤師はいるそうです。月～土は9時～17時、日曜日は11時～15時まで薬剤師がいるとのこと。また、昔の薬局の写真も飾ってありました。とても歴史のある薬局のようです。

アメリカと隣国であるカナダですが、医療制度はアメリカと全然違います。アメリカは国民皆保険がありませんが、カナダでは「医療と教育はすべて平等」という理念のもと、医療については国民皆保険体制が確立されています。また、カナダの医療システムでは、一般医によるファミリー・ドクター制があり、一般医から専門医の紹介という医療ネットワークを確立することにより、医療財政の効率化を図っています。アメリカの医療費が高いので、カナダで薬をもらおうという話を聞いたことがありましたが、こんなに簡単に行き来ができるのであれば、確かにやっちゃいますよね。

カナダの保険制度の歴史は1914年、医師への料金や公衆衛生費を税金で賄う制度を導入したことに遡るそうです。「公衆衛生費を税金で」との考えも素晴らしいですよ。お写真が載せられませんので、詳しくはメディセレのブログを見に来てください。

9月18日に開催する「次世代の薬剤師を創る会in東京校」で、皆様とお会いできることを楽しみにしております!